

令和3年度 第2回ユニバーサル都市・福岡推進協議会 議事要旨

- 1 日時：令和3年12月22日（水） 15時30分 から 17時 まで
- 2 場所：オンラインにて開催
- 3 出席者：
定村委員長、平井副委員長、
荒牧委員、郷原委員、シグデル委員、清水委員、
張委員、関根委員、松浦委員、吉住委員
(欠席者：猪野委員、藤委員)
- 4 開会
- 5 議題

令和3年度におけるユニバーサル都市・福岡の推進について
・事務局より、資料に基づき内容を説明

委員からの主な意見

<今年度の主な取組みの進捗状況について>

- ・ユニバーサルデザインに関連する事業については、部局横断的に様々なものが行われているが、全体像が分かりにくいので、関連事業が一目で分かるような Web サイトの構築など、事業全体を網羅した情報発信ができると良い。
- ・情報発信の基本は Web サイトである。「ユニバーサル都市・福岡」の Web サイトが、少しずつでも改善されているのは良いこと。一度に改善することは難しいだろうから、徐々にでも改善してほしい。
- ・「遠隔手話通訳サービス」及び「重度障がい者等就労支援事業」について、どういう風に使える制度なのか、障がいのある当事者がイメージしづらいので、情報のユニバーサルデザインの観点から、分かりやすく伝えていくことが必要。また、障がい者団体への周知も大事だが、団体に入っていない方へのアプローチも重要。市職員には、常に多様な市民に向けて情報発信を行うよう考えてほしい。
- ・「重度障がい者等就労支援事業」について、重度障がい者には、会社まで行くのが難しい状態の方が多いので、対象を在宅勤務まで拡大してもらえると、就労の機会を得て、自立に向けて前進できると思う。

- ・「インクルーシブな遊び場づくり」については、整備後に遊べない方が出ないように、今後検討委員会で議論を進めていく中で、委員のみならず、多様な方から意見を聞くことも必要。
- ・「インクルーシブな遊び場づくり」については、障がいのある当事者の方でないと気づきにくいところが多々あると思うので、ぜひ企画段階から、多様な方に体験してもらい意見をいただきながら進めてほしい。
- ・「福岡版ユニバーサルマナー検定」については、本年度も多くの方が受講されており、良い取り組みだと思う。今後も継続していけると良い。
- ・「Instagram等を活用したユニバーサルデザインに関する情報発信」について、若い世代への「ユニバーサル都市・福岡」の普及を目指すのであれば、Instagramに加えて、TikTok等を用いた短時間動画による啓発も効果的と考える。
- ・行政の情報発信については、障がい者等への情報保障が後回しになりがちなので、最初から多様な市民がアクセスできる状態にして発信してほしい。

<ユニバーサル都市・福岡 児童向け副読本の改訂について>

- ・今後改訂を予定している副読本については、電子媒体の作成を望む声があるようだが、まずはPDF化からはじめると良いと思う。
- ・検討委員会の委員候補(小学校教諭、ユニバーサルデザインの専門家、障がい当事者)は、改訂内容を議論していくうえで、良い組み合わせだと思う。
- ・副読本については、“ボーンデジタル”の考え方(読書バリアフリー法に基づいた、電子媒体をまずUDで作成し、必要に応じて紙媒体も印刷する方式)を基に改訂を進めてほしい。
- ・副読本については、主に小学4年生の授業で使われるということだが、年齢が低いほど、子どもたちは素直に受け入れる力を持っているので、低学年から、学習の機会を増やしていけると、バリアフリーやユニバーサルデザイン、障がい者等への理解がさらに進むと思う。

6 意見交換

- ・定村委員長より、以下のとおり、「歩行者や走行自転車のマナー」について問題提起（別紙参照）

福岡市が実施した、障がいを持つ様々な方へのアンケート調査において、「外出時に不便や困難を感じる事」の項目で、障がいの種類を問わず、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」が上位に入っていて、かなり深刻な問題だと感じている。

委員からの主な意見

<歩行者や走行自転車のマナー>

- ・自転車走行のモラル・マナーについては、シェアサイクルや電動キックボードを含めて、天神や博多においても、まちの課題と認識しており、「We Love 天神協議会」と「博多まちづくり協議会」で連携して、マナーアップに取り組んでいるところ。
- ・自転車走行のモラル・マナーについては、自転車教室等を開催するとともに、例えば参加者への駐輪場利用券などのインセンティブを与えることで、マナーアップにつながるかもしれない。
- ・自転車走行のモラル・マナーのアップはもちろん大事なことだが、バス停で待っていても人と人との間をすごいスピードで自転車が行ってしまうのが現実であり、なかなかそれだけでは身が守れない状態。
- ・自転車走行のモラル・マナーのアップについては、無理に強制するのではなく、みんな楽しく一緒にできて、みんなが幸せになるような仕組みができると良い。
- ・自転車走行のモラル・マナーのアップについては、啓発だけでは限界があるので、自転車教室の開催等といったソフト面と、自転車専用レーンの整備と言ったハード面の、両面で進めていくことが重要。
- ・昨今、飲食物のデリバリーサービスを行う事業者の数が増加しているが、交通マナーがとても悪く危ないので、モラル・マナーのアップが必要と考える。
- ・飲食物のデリバリーサービスを行う事業者については、留学生などの外国人が多く就労しているが、外国人に交通マナーを理解してもらうためには、新規就労者に、まず日本のマナー等の周知を行うことが効果的と考える。また、マナーが良ければ、サービス料で還元するなどの仕組みができれば効果的かもしれない。

- ・飲食物のデリバリーサービスを行う事業者が、外国人の新規就労者に、日本のマナー等を教える際には、あわせて福岡市の外国人への支援施策を学んでもらうと効果的と考える。
- ・自転車走行のモラル・マナーについては、ハード・ソフト様々な面で連携して総合的に進めていかないと改善できない。また、啓発だけではなく、何かしらのルールを作らないと改善できないかもしれない。
- ・世界水泳に向けて、“歩きスマホ”を抑制するピクトグラムなど、会場周辺で様々なサインの整備計画があると聞いた。世界水泳開催時だけでなく、日常的にもユニバーサルデザインとして効果的なので、ぜひ市でも広報等を進めてほしい。
- ・次回の協議会から、短時間でも構わないので、特定のテーマを決めて、その担当部局の方にも参加してもらい、ディスカッションできれば良いと思う。今回これだけ意見が出たので、テーマは「歩行者や走行自転車のマナー」について、ぜひお願いしたい。

7 閉会